

スピーカードローンによる避難誘導の実証実験を実施します！ ～ドローンからの音声の有効性を検証～

千葉市では、ドローン関連産業の振興等を目的に、行政や民間事業者の業務におけるドローンの活用を推進しています。

このたび、「千葉市ドローン社会課題対策事業」として、スピーカーを搭載したドローンによる市民への情報提供および避難指示の有効性の検証をするため、実証実験を実施しますので、お知らせします。

1 事業概要

地震による津波や台風による高潮発生時の海上および海岸からの避難指示を想定し、スピーカーを搭載したドローンを、いなげの浜沖の海上で飛行させ、放送を行うことで、波音の影響などによる音声の届く範囲を検証します。

<放送内容（予定）>

「テスト放送。こちら千葉市役所です。テスト放送。」

2 日時

令和8年2月27日（金）

13:30～16:00（予備日3月2日（月））

3 実施場所

いなげの浜沖の海上（右図参照）



実施場所

4 実施者

実施主体 一般社団法人日本UAS産業振興協議会（事務局 東京都文京区本郷）

飛行担当 双葉電子工業株式会社（本社 千葉県茂原市大芝）

5 取材について

- 取材希望の方は、2月26日（木）正午までに、別紙「取材申込書」に記載し、国家戦略特区推進課へメール(tokku.POF@city.chiba.lg.jp)でお申し込みください。
- 当日は13:30までにいなげの浜にお集まりください。



飛行させるドローン（FMC-02Q）

<参考> 一般社団法人日本UAS産業振興協議会について

一般社団法人日本UAS産業振興協議会（JUIDA）は、平成26年7月に設立され、日本の無人航空機（UAS）および次世代移動体システム（AMS）の新たな産業・市場の創造支援と健全な発展への貢献を目的として活動しています。

災害支援活動として、令和6年能登半島地震では、被災地からの要請に基づきドローンによる災害支援活動を実施しており、加盟企業26団体を統括し、約1カ月間、延べ100回以上の災害活動支援を行っています。その際、双葉電子工業株式会社は現地の漁港で海底隆起等による被害状況の撮影を実施しています。

また、本市と一般社団法人日本UAS産業振興協議会は、災害時等に備え、令和7年2月28日に「災害時等における無人航空機による活動協力に関する協定」を締結しました。